



世界の子どもの笑顔をプリントした傘を一齐に開き、注目を集めたアートプロジェクト(21日午後1時50分、京都市左京区・平安神宮前) 撮影・栗本禎二



世界の小さな笑顔、満開

子どもの笑顔をプリントした傘を街中で一齐に開くアートプロジェクト「MERRY IN KYOTO」が21日、嵐山や平安神宮など京都市内の観光地で行われた。参加した学生らが開けた笑顔の傘に、通りがかった観光客らが感心していた。

東京都のアートディレクター水谷孝次さん(59)が「笑顔を通じて幸せな気分になってもらおう」と1999年から同プロジェクトを主宰し、国内外のイベントや観光地で「笑顔」を発信している。

京の観光地

今回は、その趣旨に賛同する京都の大学生らが水谷さんと企画した。傘にプリントされた笑顔は、大地震に被災したインドネシアや中国、神戸の子どもたちを水谷さんが撮影して集めた。

大学生ら約50人が参加し、嵐山の渡月橋や平安神宮、三条大橋などでプロジェクトを展開。平安神宮では、応天門をバックに整列した学生らが一齐に34本の笑顔の傘を開けると、通りがかった参拝者らは「わあきれい」「見事だな」と声を上げ、カメラを向けていた。(後藤竜介)